

教科名	数 学 科	週時間数	4 時間	学年	1 年
使用教科書 及び 副教材等		・未来へひろがる数学1(啓林館) ・ワーク			
学習のねらい		・数量、空間に関する基礎的な知識、技能を身につける。 ・筋道を立てて考え、ものごとを合理的に処理する能力を伸ばす。 ・自主的、積極的に考え、新しいものごとを理解し創造しようとする能力と態度を養う。			
目指す姿		支え合う	○課題に対して数学的な見方・考え方を働かせて、自分の考えを持ったり、他者にわかるように伝えたりしようとする姿。 ○グループ活動を通して、自分の考えを他者に伝えるとともに、他者の考えを受け入れ、相違点や共通点について考えようとする姿。		
		高め合う	○グループ活動などを通して、気づいてことをもとに、思考を深めることで、問題を解決しようとする姿。		
学習の進め方		【学習への取り組む姿勢】 ○授業では教科書を中心に、基礎学力をつけることを目標に進めましょう。 ○基本問題を終えた後、おもに問題集を使い応用問題にも取り組みましょう。 ○授業中の発表、発言、生徒同士の教えあいを大切に、意欲的に授業に取り組みましょう。 【家庭学習】 ○授業の予習・復習を必ずしましょう。 ○授業で分からないところがあれば、その日のうちにわかるようにしましょう。 【端末の活用】 ○ドリルパークを使って、個々の理解度に合わせて問題に取り組みましょう。 ○理解しづらい内容は、教科書のQRコードを利用しましょう。			
定期テスト		出題方針	まず、授業で取り上げた内容を中心に、基本的な数学の力を問う問題を出題します(知識・技能)。また、授業で勉強した考え方や処理の方法を利用して解く、応用的な力を見る問題も出題します(思考・判断・表現)。		
		範 囲 (予定)	1学期中間	・正の数、負の数	
			1学期期末	・正の数、負の数 ・文字の式	
			2学期中間	・文字の式 ・方程式	
			2学期期末	・方程式 ・変化と対応	
			学 年 末	・平面図形 ・空間図形 ・データの活用	
評価方法	観点	評価の方法		評価について	
	知識・技能	・小テスト、定期テスト等 ・授業への取組		・基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けられたか。	
	思考・判断・表現	・小テスト、定期テスト等 ・授業への取組		・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする。図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察し表現する。数量の変化や対応に着目して関数関係を見出し、その特徴を表、式、グラフなどで考察する。データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりできる。	
	主体的に学習に取り組む態度	・小テスト、定期テスト ・ワーク、ノート、プリントの提出と取組内容 ・授業への取組		・ワーク、ノートの提出物、プリントの達成状況や取り組み内容を、授業態度や発表や授業のふりかえりなど意欲的な姿勢等を総合的に判断する。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたか。	